

平成30年度 第1回読書活動支援者育成事業地区別研修会 実施報告書

(南会津) 教育事務所

1 実施期日	平成30年7月6日(金) 時間:10時00分~15時10分
2 会場	只見町朝日振興センター 2Fホール
3 出席者数	総出席者数 計 39名 (男性10名 女性29名)
(内訳) 講師(2名)、読書・読み聞かせ・図書ボランティア(11名)、保育士(1名)、 図書館職員(3名) 小学校教員(2名)、中学校教員(6名)、学校司書(2名)、 南会津町教育委員会(1名)、下郷町教育委員会(1名)、只見町教育委員会(3名)、 只見振興センター(1名)、朝日振興センター(1名)、明和振興センター(2名)、 福島県教育庁社会教育課(1名)、南会津教育事務所(3名)	
4 研修会概要	
○ 開会式 (10:00~10:10)	
(1) 開会のことば	
(2) 主催者あいさつ	
(3) 日程説明・諸連絡	
○ 研修	
(1) 実践発表 (10:10~11:10)	
・講師紹介	
・講演 「下郷町学校図書館ボランティアの会の実践について」	
下郷町学校図書館ボランティアの会 代表 大竹 仁 氏	
・質疑応答	
	
【内容】	
1 名称	○ 「下郷町学校図書館ボランティアの会」
2 目的	○ 本会は、町内の児童・生徒により利用しやすい図書館を目指すと共に、図書館に興味と関心を示し、意欲的に本を読む子どもになって欲しいことを願い、各学校図書館の環境整備を主な目的とする。
3 本会の開始年	○ 平成14年度
4 事務局	○ 下郷町教育委員会社会教育係
5 現在の会員数	○ 8名(男性2名・女性6名)、他に協力員
6 活動の状況	○ 旭田小学校、江川小学校、檜原小学校、しもごう保育所、湯野上保育所で活動 ○ 様々な絵本の紹介と子どもを引きつける読み聞かせについて
7 新たな取組	○ 町内研修会(自主研修会)の実施 ○ 「おはなし会」の実施
○ 休憩 (11:10~11:20)	
○ 情報交換 (11:20~11:50)	
① 本研修会への要望	
② 普段の活動に対する悩み、実践内容の紹介	
○ 昼食 (11:50~13:00)	

(2) 講演 (13:00~15:00)

- ・講師紹介
- ・講演 「ビブリオバトルを愉しむ方法 ～本の言葉に自分の声をのせて～」

文教大学・准教授 平 正人 氏

- ・質疑応答
- ・御礼のことば

【内容】

- 子どもたちの読書の実態
- 不読率を解消するために
- 「本を通して人を知る 人を通して本を知る」こととは
- ビブリオバトルのルールについて
- 原稿を読むのはタブー、ノー原稿で紹介することが大事
- 作者の言葉に自分の声をのせる
- 学校でビブリオバトルをするメリットとは
- 6班に分かれてビブリオバトルを実施
- 質疑応答



○ 閉会式 (15:00~15:10)

- (1) 諸連絡
- (2) 閉会

5 感想

【実践発表 大竹 仁 氏】

- 実践を多く紹介していただき、大変参考になりました。同じメンバー同士だと情報も狭くなりがちですが、他の団体の実践を知ることで、今後の活動が広がりそうです。
- いろいろな道具を使ったり、導入方法があるのだと大変参考になりました。
- 手振りや歌、交互対話方法による読み聞かせなど、参考になることが多くありました。
- 手作りおもちゃ、しかけ絵本を通し、コミュニケーションの取り方、絵本や歌への導入へつなげるのに参考になりました。
- 見たこともない絵本を見ることができました。また、その本の使い方も知ることができました。
- 読み聞かせを中心に活動されている中で、子どもたちの興味を引く工夫をされていることが参考になりました。

【講演会 平 正人 氏】

- ぜひ本校でもビブリオバトルのワークショップを行っていただきたいと思いました。平先生本当にありがとうございました。
- 「ビブリオバトル」と身構えなくても、思っていたよりも気軽に行えることがわかりました。
- 初のビブリオバトル体験に感謝しています。前々からやってみたくて思っていました。
- ビブリオバトルの公式ルールや、やり方などを学べて良かったです。開催する際の課題もわかりました。
- 「ビブリオバトル」という言葉も知りませんでしたが、平先生の講演を聴いて内容や目的を知ることができました。また、実践を通して楽しさや難しさも知ることができました。
- ビブリオバトルを行ったことは初めてであった。「本の言葉に自分の思いを寄せて」は大変良い言葉であった。

【情報交換】

〈本研修会への要望〉

- 選書（年齢に応じた本の選び方）について
- ペープサートの作り方について
- 実践発表が参考になる

〈普段の活動に対する悩み、実践内容の紹介〉

- 他地区の取組について知ることができ参考になりました
- 各ボランティア団体や学校等との連携方法を知ることができた
- 色々な立場からの話が聞け、今後の活動の参考になりました
- 学校とボランティア団体の連携の必要性を感じた
- どのようにすれば図書館に興味を持たせることができるか工夫が必要

【御意見・御要望】

- 久しぶりに参加しましたが、良い刺激を受けました
- 貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました
- 図書館の事業として、ビブリオバトルをしてみるのも楽しいと思います
- 年齢別の選書の仕方や、読み聞かせの組み立て方等の研修もしていただければと思います
- ビブリオバトルの開催に向けて頑張ります
- 世代、立場、地域を超えて本を楽しんでいることがうれしいです

6 成果・課題

【アンケート結果】

◇実践発表について

大いに参考になった 21名 ある程度参考になった 0名 参考にならなかった 0名

◇情報交換について

大いに参考になった 14名 ある程度参考になった 4名 参考にならなかった 2名

◇講演について

大いに参考になった 22名 ある程度参考になった 4名 参考にならなかった 0名

【成果】

- 実践発表を通し、多くの実践内容を紹介いただき、他団体の良い参考となった。
- ビブリオバトルの説明や実体験を通して、誰もが楽しみなが参加できるより身近なものとして捉えることができた。
- 情報交換の場を設定したことが非常に有効であった。研修会の要望や普段抱えている悩みを聞き合ったり、実践されていることを話し合ったりなど、これからの活動につながる実のある研修会となった。

【課題】

- 今年度より、高校生によるビブリオバトルの地区予選会を実施することを契機に、ビブリオバトルの講演を実施したが、高齢の読み聞かせボランティアにとっては、少々難しい内容であった。今後、幅広い年齢層や団体に、充実した研修となるように検討していきたい。
- 終了の時間が予定より遅くなった。参加者も仕事の合間などに時間を割いて参加されているので、時間厳守を守っていきたい。
- 情報交換のアンケートで、「参考にならなかった」と答えた参加者が2名いた。参加者の活動内容が異なるため、話が深まらなかったことが予想される。今後、これらの反省を踏まえて班編制や話し合いの視点を工夫していきたい。